

授業日時/教科・単元 だれがたべたのでしょうか / 国語

授業者 恒任 珠美 教材作成者 恒任 珠美

ジグソー型の授業を実践していかがでしたか。以下の点についてコメントをおきかせください。

① 授業中の子どもたちの反応はどうでしたか？

- ・初めての学習方法に戸惑いが大きかったようである。
- ・自分の考えをわかりやすく相手に伝えることがまだ難しい児童もいる。
- ・ワークシートに書く時間に個人差が大きかった。
- ・子どもたちが大好きな生き物のことが書いていることもあり意欲的であった。

② 教材について、うまくいった点あるいは改善したい点はどこですか？

・昨年度の自分の課題であった、クロストークの課題を「たべたあとをみると、どんなことがわかるでしょう」にして授業に臨んだ。そのために、一斉学習での『穴の開いた胡桃 ⇄ ねずみ』の関係を言葉や写真を使ったり、実際に胡桃を手にしたたり、ネズミの生態を考えたりしながらしっかりと押さえた。

その結果、本時では、子どもたちから「たべたあとをみると、近くにどんなどうぶつがすんでいるかがわかる。」という答えがあった。

③ 今後ご自分の教室で「協調学習」を目指した授業を行うには、どのようなメリットとデメリットがありそうだと感じましたか？

- ・友だちに伝えるためには、一人ひとりが読みの主体者にならなければならない。
- ・友だちにわかりやすく説明する手順をつかませる必要がある。

④ そのほか気づいた点、次に「ジグソー型」でやってみたい単元などあればお書き下さい。

- ・1年生では、2人組がベストであるような気がする。
- ・1年生では、《エキスパート活動》と《ジグソー活動・クロストーク活動》を2時間に分けて行う方が、理解や説明・思考の十分な時間保証ができるのではないか。